

]ベナン月報(2016年10月)

主な出来事

【内政】

- 25日, 政府は国内の治安対策として, 今後憲兵隊と警察を統合, 新たに単一の治安部隊を編成する方針を発表した。近く調査委員会が設置される予定。
- 25日, 政府は2016年-2021年の「政府行動計画」を発表した。
- 28日, コトヌ港でブラジル発 COMON 社宛のコンテナから約18kgのコカインが発見され, コトヌ警察は同社を経営する実業家アジャボン氏の身柄を拘束した。

【外政】

- 3日, タロン大統領はナイジェリアを訪問, ブハリ・ナイジェリア大統領と二国間の経済・通商関係について会談を行った。

【経済】

- 20日, 中国企業 THI インベストメントグループはコトヌ市フィジロセ地区における高級住宅地区建設計画「Golden Key」の発起レセプションを開催, タロン大統領が出席した。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および, Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 3日, 新パラク市長に日刊紙 Le Matinal 及び関連メディアグループ創設者のトコ (M.Charles TOKO)氏が選出された。(3日, La Nation 紙)
- ・ 4日, 生活環境・持続的開発省はコトヌ市における排ガス規制を行うことを発表した。規制は11月7日から開始される予定で, 6か月の移行期間が与えられる。(17日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 5日, 閣議で全ての学生団体の活動を一時的に禁止することが決定された。現在暴力的な活動が問題になっている各種学生団体のあり方を政府として定義する方針。(6日, La Nation 紙)
- ・ 5日, アフリカ諸国の国民のベナン入国ビザの免除及びそれ以外の国民のビザ取得のオンライン化を進めていくことが閣議決定された。(6日, La Nation 紙)
- ・ 5日, 指導監督評議会 (COS/LEPI)は, 選挙人名簿の更新のための選挙人名簿の貼り出しの実施を発表した。選挙人名簿は各地の選挙区別に21日間張り出され, 異議申し立て等を受け付ける。(6日, La Nation 紙)
- ・ 6日, ボヌ市議会でズメヌ (M.Emmanuel ZOUMENOU)同市第一副市長が新市長に選出された。(7日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 6日, アリボリ県ゴグヌ市議会でバチャビ (M.Salifou BACHABI)市長の解任動議が可決された。(7日, La Nation 紙)
- ・ 10日, 法務省がコトヌ市からポルト・ノヴォ市の最高裁判所近くに移転された。(11日,

La Nation 紙)

- ・ 11日, 「官民連携の法的枠組みに関する法律」が国民議会で採択された。(12日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 3601名の初等・就学前教育校教員及び3432名の中等教育・職業訓練校教員の新規採用が閣議決定された。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 12日, 政府は2017年より専門的な機関と協力しベナン国内の土地の再区画を行うとして, 現在ベナン国内で行われている全ての区画整理計画の停止を閣議決定した。(13日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 17日, 2016年第2回通常国会が開会した。この国会では, 約3か月にわたり来年度国家予算の策定を中心とした議論が行われる。(18日, La Nation 紙)
- ・ 19日, 政府は過去の国有地の売却に際し, 売却時の適正な価格が反映されていなかったケースが80件以上, 約200ヘクタールに上るとの見解を示し, 今後調査委員会を設置, 購入者に対し差額の支払いを求めるとともに, 必要な場合は民事・刑事における法的手続きを取っていくことを閣議決定した。(25日, La Nation 紙)
- ・ 20日, ゴグヌ市議会でアリドゥ(M.Moutawakilou ALIDOU)同市経済・財務委員会委員長が新市長に選出された。(21日, Le Matinal 紙)
- ・ 24日, 保健省契約職員が保健省中庭で座り込み抗議を行った。これは契約職員に対する手当などが未払いになっているため, 組合側は状況が改善されなければストライキを行うとしている。(25日, La Nation 紙)
- ・ 25日, 政府は国内の治安対策として, 今後憲兵隊と警察を統合, 新たに単一の治安部隊を編成する方針を発表した。近く調査委員会が設置される予定。(26日, La Nation 紙)
- ・ 25日, 政府は2016年ー2021年の「政府行動計画」を発表した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 27日, 高等教育省はアボメイ・カラヴィ大学最大の学部である人文・芸術・人間学部(FLASH)を2つに分割, 文学・言語・芸術・コミュニケーション学部(FLLAC)及び人間・社会学部を設置することを発表した。(28日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 28日, コトヌ港でブラジル発 COMON 社宛のコンテナから約18kgのコカインが発見され, コトヌ警察は同社を経営する実業家アジャボン(M.Sébastien Germain AJAVON)氏の身柄を拘束した。(31日, La Nation 紙)
- ・ 31日, アジャボン氏の開放を求める市民がコトヌ市, モノ県やクツフォ県など各地で抗議活動を行った。(11月2日, La Nation 紙)

【治安】

- ・ 3日, コトヌ市で3名の象牙密売人が逮捕された。容疑者は象牙3本約12.3kgを所持しており, 北部の国立公園で入手したと思われる。(7日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 6日, コトヌ市アツパツパ地区で建設中の建物が崩壊し, 5名が死亡, 7名が重軽傷を負った。(7日, Le Matinal 紙)

- ・ 14日、ドンガ県ウアケ市セメレ地区で、閉鎖されていたモスクの開放を求める住民と治安部隊が衝突、6名が死亡、複数名が重軽傷を負った。同地域では、数年来地域のイスラム指導者(イマーム)の選任を巡る対立が発生しており、行政はモスクを一時的に閉鎖していた。(17日、Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 2日、カーボベルデの大統領選挙に際し、ヤイ前大統領が ECOWAS 選挙監視ミッションの団長を務めた。(5日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 3日、タロン大統領はナイジェリアを訪問、ブハリ・ナイジェリア大統領と二国間の経済・通商関係について会談を行った。(4日、Le Matinal 紙)
- ・ 4日、10月22日～23日にベルギー・ブリュッセルで開催予定の「ブードゥーフエスティバル」を政府として支援していくことが閣議決定された。(6日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 15日、トーゴで海洋安全保障及び開発に関する AU 特別首脳会合が開催され、タロン大統領及びアベノンシ外相が出席した。(17日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 17日、ベナン及びスイス政府は、2016年～2019年のベナン・スイス2国間協力の枠組みにおいて、合計215億 FCFA に上る6つの協力協定を結んだ。(18日、La Nation 紙)
- ・ 19日、ハイド(Mme.Dana J. HYDE)米ミレニアム・チャレンジ公社理事長がベナンを訪問、タロン大統領と会談を行った。(20日、La Nation 紙)
- ・ 21日、フランス、コートジボワール、チェコの新大使3名がタロン大統領に信任状の捧呈を行った。(24日、La Nation 紙)

【経済】

- ・ 中国企業 NASCO 電子の家電販売店がコトヌ市のゲゾ陸軍駐屯地近くにオープンした。他社製品と比較して低価格の商品が揃っている。(5日、Le Matinal 紙)
- ・ 7日、ベナン商工会議所で、11月25日～12月10日にコトヌ市で開催予定の「第5回 UEMOA 地域フェア」の発起式が行われた。同フェアには UEMOA 地域内外から約500の企業の出展が予定されている。(10日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 17日、ベナン税関総局は、食品を始めとする15品目の陸路での輸入を一時的に禁止することを発表した。(19日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 18日、コトヌ市の私立職業技術単科大学(Institut CERCO)と中国の寧波職業技術学院が新たな提携プログラムの開始を発表した。寧波市とコトヌ市は2012年に姉妹都市協定を結んでおり、記者発表にはソグロ(M.Léhady SOGLO)コトヌ市長も出席した。(19日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 20日、中国企業THIインベストメントグループはコトヌ市フィジロセ地区における高級住宅地区建設計画「Golden Key」の発起レセプションを開催、タロン大統領が出席した。(21日、La Nation 紙)

- ・ 25日、世銀は Doing Business 2017 を発表し、ベナンは190か国中、昨年の総合153位から2位後退し155位となった。一方で、個別の項目では起業に関する項目で60位順位を上げ57位、電力供給で3位順位を上げ174位となった。(26日、La Nation 紙)

(了)